



KAWASAKI

Innovative Construction

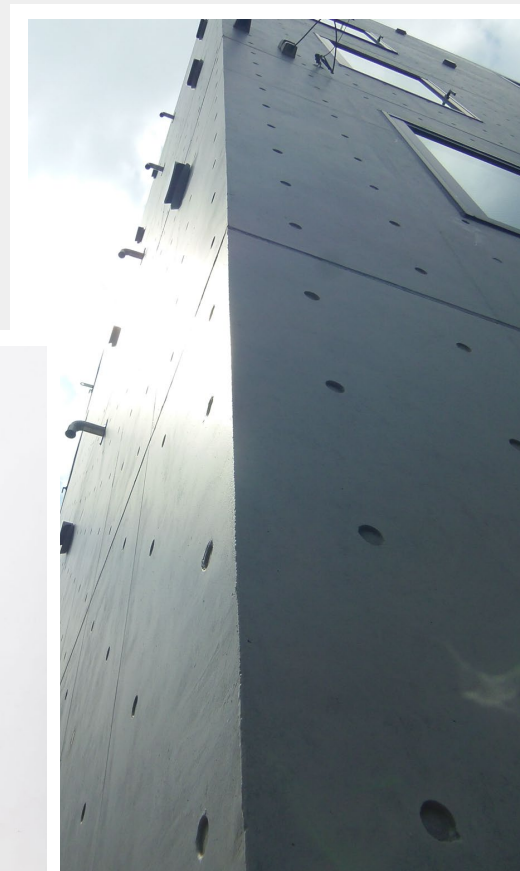
グリーン製品市場の創出に向けたサプライチェーンにおける脱炭素化支援事業 中間報告

2026年5月20日

株式会社KAWASAKI

企業紹介

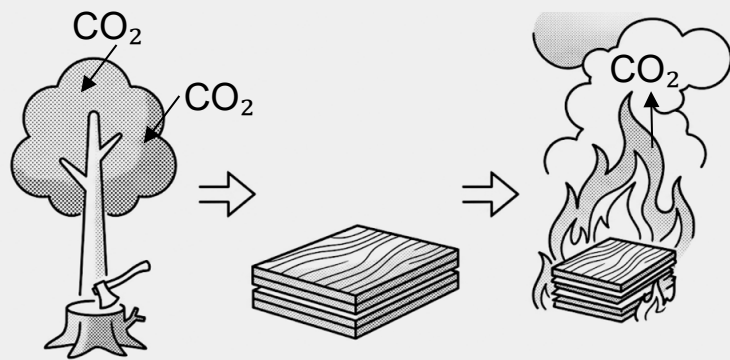
会社名	株式会社KAWASAKI
設立	1952年 3月
URL	https://kawasaki-co.jp/
所在地	102-0093東京都千代田区平河町1-7-5
代表	川崎 先和
資本金	5,000,000円
事業内容	リサイクル原料を使用したプラスチック製型枠パネル 及びその資材の研究・開発・生産・販売
加入団体	一般社団法人 大匠の会
認定・認証	エコマークアワード「最優秀賞」 NETIS登録、グリーン購入大賞「優秀賞」 EPD（環境ラベル）取得申請中



これまでの取り組み

環境問題に対し、弊社は早くから深い関心を持ち、早期に「**エコマーク認定**」を取得しました。

現在はEPDの取得にも取り組んでおり、積極的にグリーン化に努めてきた経緯があります。



応募のきっかけと狙い

現在、コンクリ型枠材料として主に使われている「ベニヤ板（合板）」は転用回数が5回ほどに限られ、その廃材は焼却処分され、CO2排出は避けられません。このまま使用を続けることは環境保護の観点からも難しくなると思われます。

このような中で東京都が「グリーン市場創出」を推進していることを知り、「KAWASAKI」の「大匠パネル」とその副資材をよりグリーン化するために応募しました。



大匠パネル使用

5 F 建てマンション 東日暮里にて



算定対象製品と取り組み体制

CFP算定の対象製品

大匠パネル



副資材

バタ（横 丸単管）



オリジナルクリップ



バージン材使用により排出量大
→再生材へ

本事業の取組体制

ファブレス企業の機動力を生かし、
製造・供給メーカーとも連携し、
パネルに加え副資材や支援資材等も
含めた「サプライチェーン全体」で
脱炭素に取り組んでいきます。



自己算定によるCO₂削減比較

- 1枚あたりのCO₂排出量

大匠パネル
600mm×1,800mm

0.217kgCO₂/枚
50回転用

合板ベニヤ
600mm×1,800mm

1.458kgCO₂/枚
5回転用

- 実際の使用枚数での排出量

216.74kgCO₂/千枚

1,457.86kgCO₂/千枚

▲ 1,241.12kgCO₂削減

- 大匠パネルで削減できる排出量

木材燃焼の場合
▲ 85.13%削減

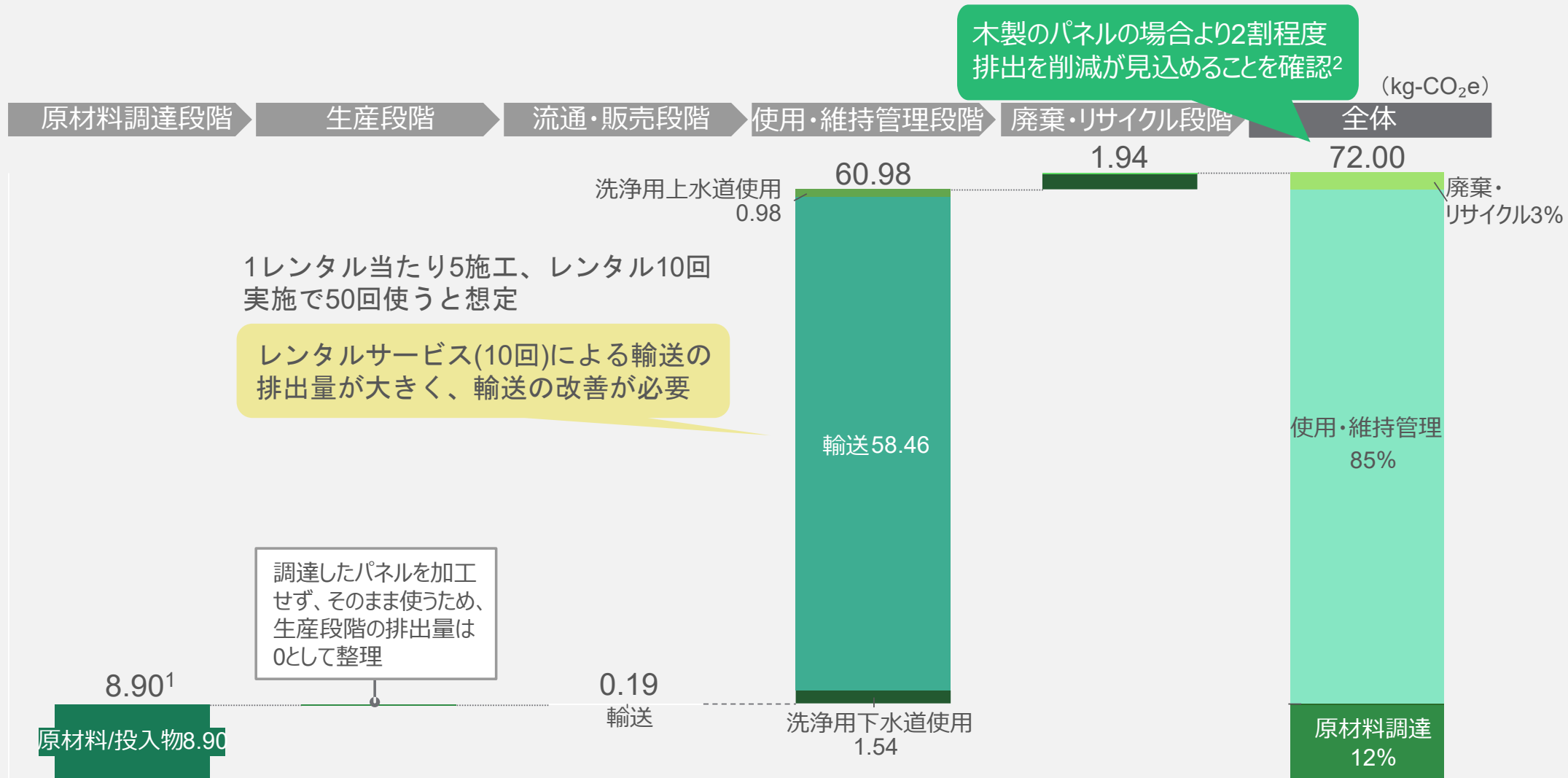
木材リサイクルの場合
▲ 74.26%削減

※別途、工期削減による人件費の移動でのCO₂排出量も加味される

・ サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (Ver.3.2) ・ IDEA version2.3

大匠パネル (再生PP製) の排出量

ベースライン製品: 大匠パネル

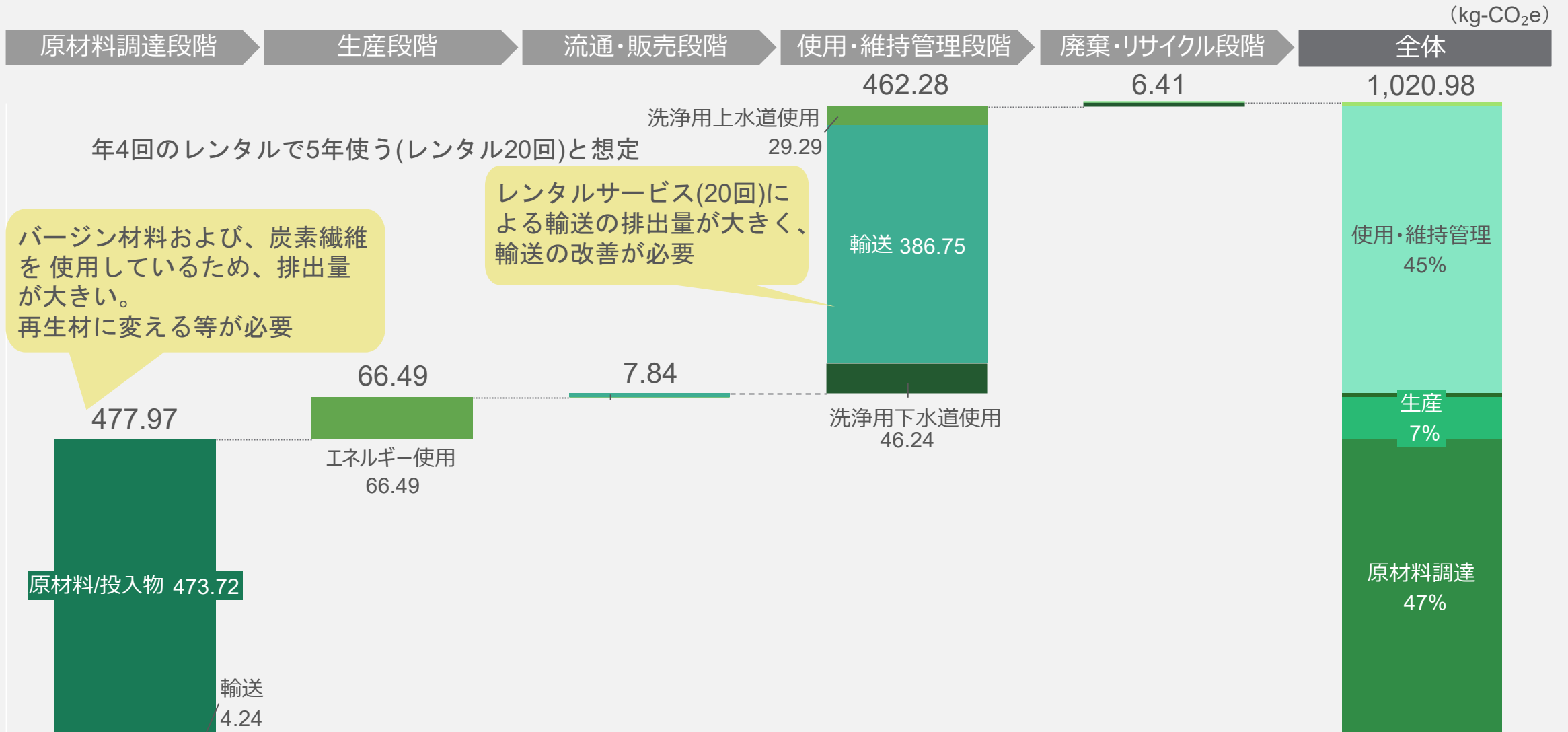


1. サプライヤー提供の数値

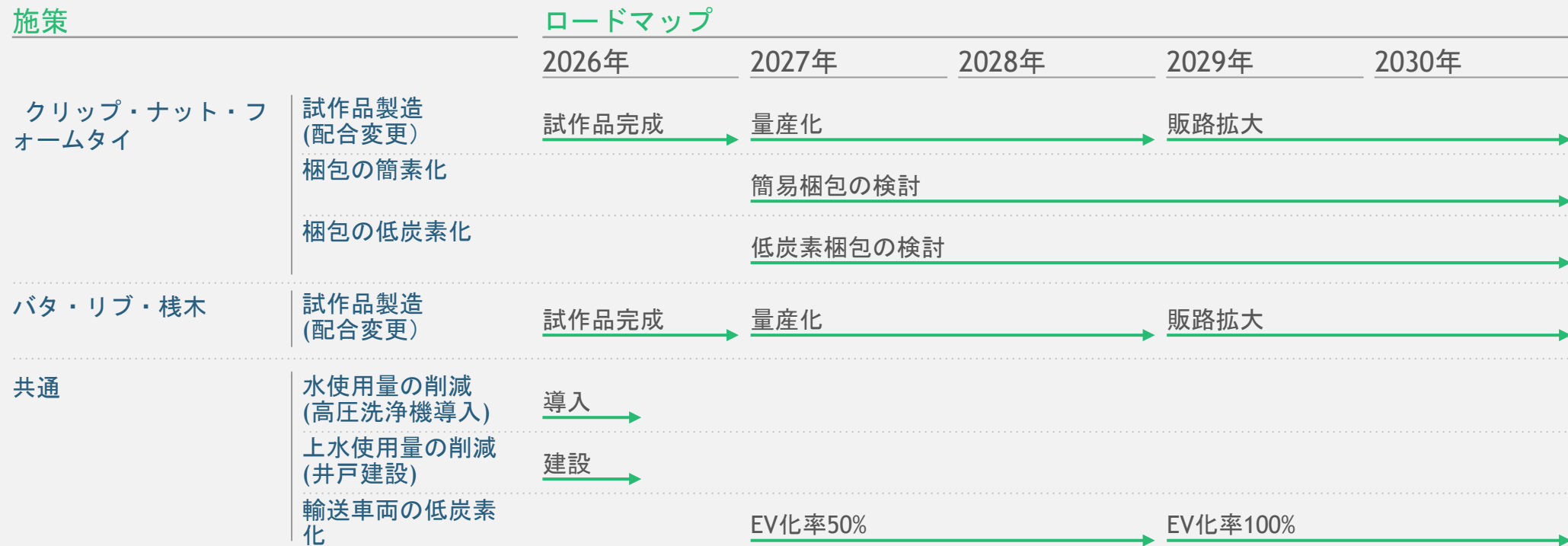
2. 木製のパネルの場合には5回で使い捨てとして算定すると、50回の使用では、90.3kg-CO₂e

原材料の排出量とレンタルサービスの輸送の排出量が大きい

ベースライン製品: クリップ (炭素繊維混合プラ製)



2030年に向けた脱炭素ロードマップ



1. 本年・来年度から実施する施策については施策実施後に更新。中長期で実施する施策は初期的な概算
2. 削減量÷ベースライン製品CFP

本事業を通じた現時点での手応え

現時点での成果

- CFPを算定し、製品のライフサイクル全体のGHG排出量を「可視化」でき、それを実行していくことで、今後の目標設定につながりました。

本事業参加の意義

- CFP算定とCO2削減施策の検討・実行がグリーン化製品創出のポイントであることを把握できた点です。



2年目の抱負

ゴール	削減施策を確実に実行し、さらにグリーン化した「大匠パネル」の開発に取り組むことです。
実施を目指す事項	パネル、副資材、支援材をまとめて、本体のCO ₂ 排出削減に努め、更にCO ₂ 排出量が多い輸送分野で、ガソリン車からEV車、ハイブリッド車に切り替え、輸送ルートも路線運送や混載輸送を多用していくことです。